

利根運河を知ろう

Q1.運河って何？

A1.船の移動のために人工的に造られた水路です。

Q2.どうして？ここに運河を作ったの？

A2.東北からの物資を銚子から利根川をのぼり、関宿経由で江戸に運ばれていましたが、上流から流れてきた土砂が溜まったり、川幅が狭かったことから、利根川と江戸川をつなぐ運河の計画ができました。

Q3.誰が作ったの？

A3.オランダ人技師であるムルデルさんが、運河の設計と工事の監督を行いました。
利根運河の工事は、クワやツルハシで掘るといいうやり方で進められ、完成に約2年、約220万人が携わりました。明治23年に通水が始まり、今年で125年となります。

Q4.なぜ、今は船が通ってないの？

A4.明治29年の鉄道の開通などによって、貨物の輸送が鉄道等に変わり、衰退がはじまりました。また、運河の航路維持のための費用が増大しました。そのような中、昭和16年の大洪水により、運河としての機能が停止し、約50年の舟運の歴史に幕を閉じました。

Q5.現在の役割は？

A5.利根運河は国によって管理されています。現在では、治水、利水の役割も終え、豊かな自然環境と良好な景観により貴重な地域資源として地元自治体や多くの地域住民の方から大切にされています。

利根運河が地域の人々に親しまれ続け、周辺の自然環境や歴史文化と調和し、より美しい環境が形成されることを目標として、野田市、柏市、流山市、千葉県、国土交通省の行政関係者、有識者、民間団体の代表により構成される「利根運河協議会」を設置しました。

目標の実現に向けて、生態系の保全や観光振興などの具体的な検討・施策を連携・協力して進めています。

★利根運河プロフィール★

流路延長8.5km、流域面積25.4km²の日本初の西洋式運河です。

「選奨土木遺産」に認定。

「近代化産業遺産」に認定。

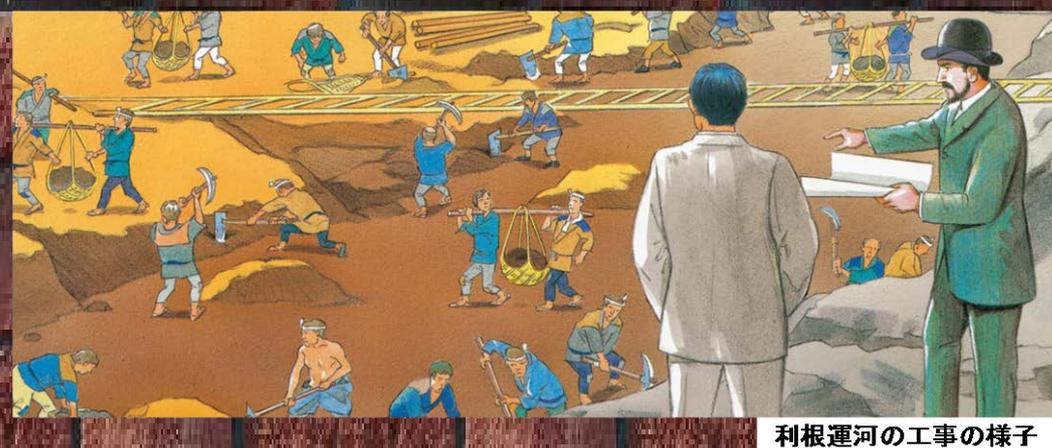
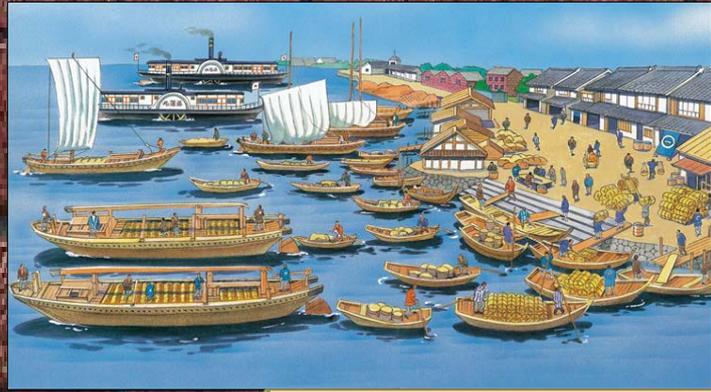
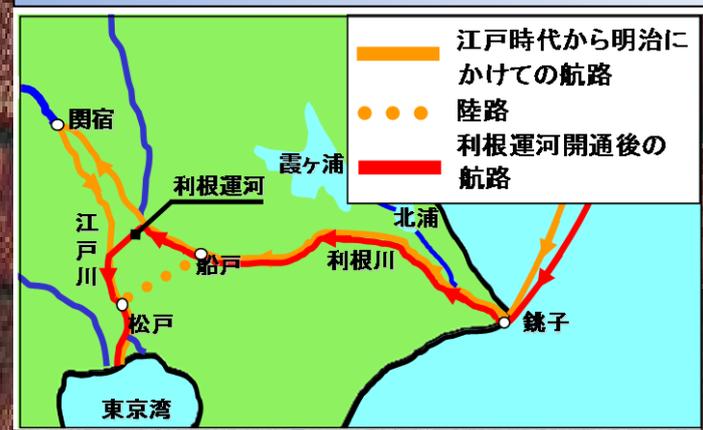
「美しい日本の歴史的風土準100選」に選定。

「ちば遺産100選」に選定。

航路の変遷



利根運河開通後



利根運河の工事の様子

A・T・L・ローウェンホルスト・ムルデル



1848年オランダのライデン市に生まれ、デルフト工科大学で土木工学を学びました。
 自分の国が海面よりも低く、海岸や川の堤防が壊れると国の半分は水に浸かってしまう状態を見て、土木の勉強をし、水利者になって働きました。
 明治初期に、日本が土木技師を探していることを知って来日し、新嘉坡や東京湾の調査・計画等を行いました。
 そして、日本最大級の運河である利根運河の開削を手掛け、成功させました。

現在の利根運河

